

令和4年度 第2回荒川水系治水  
調整協議会（秋季定例会）

## 荒川ダム群等の現状と今後の見通しについて



浦山ダム（令和4年9月30日撮影）

令和4年10月12日

関東地方整備局

# 1. 荒川4ダム等の現状

## (1) 荒川水系

### 1) 秋ヶ瀬地点上流域平均降水量の状況

今年4月以降の降水量は4月と7月は月平均を超える降水量があり、5月、6月、9月は、概ね月平均の降水量がありました。8月は、月平均値を下回りました。

10月は、6日までの降水量で15mmとなっています。(図-5、表-5参照)

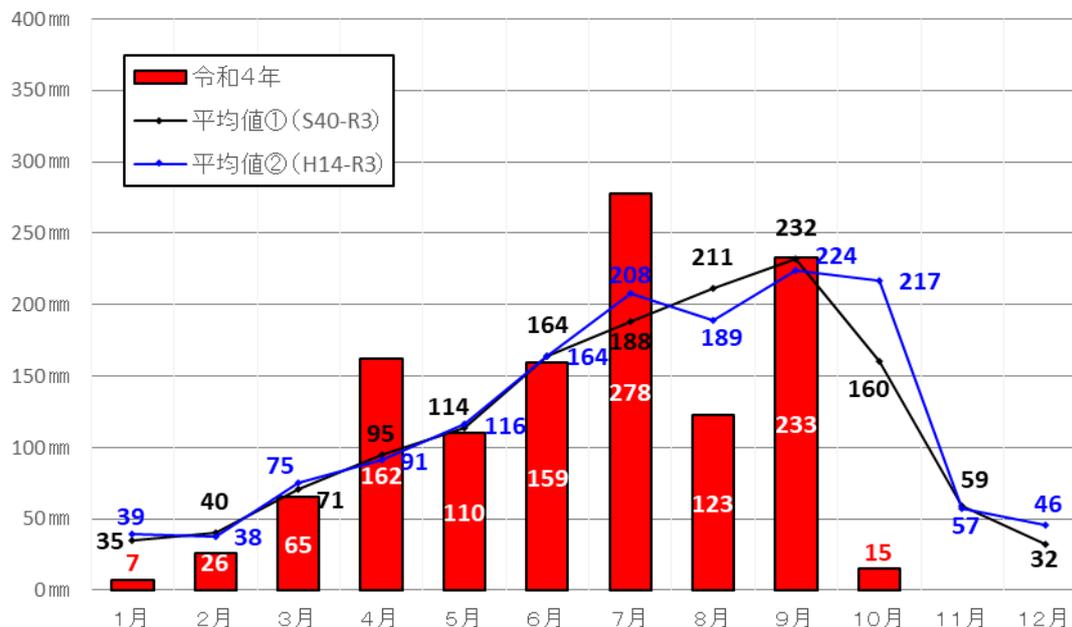


図-5 荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量 (月別)

表-5 荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量 (主要年との比較)

単位 (mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘要
平成24年	36	54	93	86	257	217	102	65	245	93	54	33	1,335	
平成25年	35	18	37	152	36	172	94	77	238	327	17	46	1,249	
平成26年	8	179	51	51	73	512	125	182	125	286	62	28	1,682	
平成27年	41	23	48	84	47	192	281	213	322	26	119	28	1,424	
平成28年	75	53	74	72	44	119	90	462	247	31	87	60	1,414	
平成29年	24	10	73	67	67	70	218	263	138	488	13	7	1,438	
平成30年	27	17	160	53	124	118	200	184	340	44	21	24	1,312	
令和元年	10	24	97	58	91	239	225	137	166	725	80	29	1,881	
令和2年	95	11	105	186	103	221	304	56	261	209	5	3	1,559	
令和3年	36	43	110	60	102	140	288	209	144	117	51	66	1,366	
平均値① (S40-R3)	35	40	71	95	114	164	188	211	232	160	59	32	1,401	-
平均値② (H14-R3)	39	38	75	91	116	164	208	189	224	217	57	46	1,464	-
令和4年	7	26	65	162	110	159	278	123	233	15	-	-	1,178	-
平均値に対する割合 (%)	20	65	92	171	96	97	148	58	100	9	-	-	84	-

※秋ヶ瀬上流域面積：2,021km<sup>2</sup>

## 2) 荒川4ダムの貯水状況

4月までは平均値を下回る貯水量をほぼ横ばいで運用しておりましたが、4月に月平均を超える降水量があり、5月以降も降雨に恵まれたことから5月中旬以降は平均以上の貯水量を確保しての運用をすることができました。

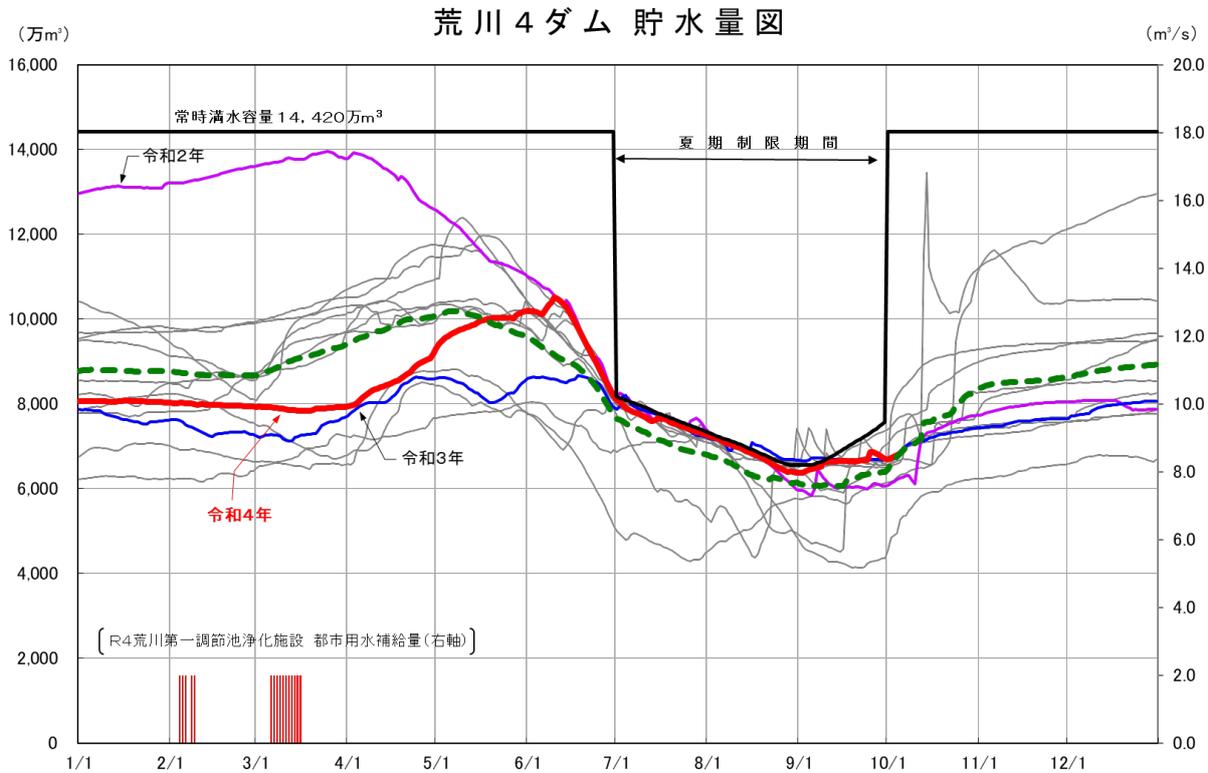


図-6 荒川4ダム貯水量図

令和4年10月6日0時の貯水量は6,853 万 $m^3$ 、貯水率48%（貯水量の平均値（平成22年～令和3年）に対する割合は99%）となっています。（表-6、図-6参照）

表-6 荒川4ダム貯水量

ダム名	有効容量 (万 $m^3$ )	貯水量 (万 $m^3$ )	貯水率 (%)	前日補給量 (万 $m^3$ /日)
二瀬ダム	2,000	50	3%	0
滝沢ダム	5,800	2,592	45%	-17
浦山ダム	5,600	3,357	60%	-11
荒川貯水池	1,020	854	84%	0
4ダム合計	14,420	6,853	48%	-28
4ダム合計の平均値 (平成22年～令和3年)		6,894	(平均値に対する割合 99%)	

※有効容量は、常時満水容量

※貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合

※前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差（値が負の場合は、放流量より流入量が多く、ダムに水を貯留している状況です。値が正の場合は、流入量より放流量が多く、ダムに貯留した水を流している状況です。）

## 2. 10月以降の気象予報について

令和4年9月29日気象庁発表の関東甲信地方の1か月予報(10月1日から10月30日までの天候見通し)によると、向こう1か月の天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ない見通しで、降水量は、「平年並」「多い」の確率が40%となっています。また、令和4年9月20日気象庁発表の3か月予報(10月から12月までの天候見通し)によると、11月以降は晴れの日が多い見通し。

なお、令和4年9月20日気象庁発表の寒候期予報(12月から2月までの天候の見通し)によると、関東甲信地方の今冬は、平年と同様に晴れの日が多く、この期間の気温は、「平年並」「低い」の確率が40%、降水量は、「平年並」「少ない」の確率が40%となっています。

### ➤ 1か月予報(令和4年9月29日発表) <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)			
気温	関東甲信地方	向こう1か月 10/01~10/30	20 30 50
		1週目 10/01~10/07	10 20 70
		2週目 10/08~10/14	30 50 20
		3~4週目 10/15~10/28	20 30 50
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 10/01~10/30	20 40 40
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 10/01~10/30	40 40 20

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

### ➤ 3か月予報(令和4年9月20日発表) <向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率(%)>

気温、降水量の各階級の確率(%)			
気温	関東甲信地方	10月~12月	30 30 40
		10月	20 30 50
		11月	30 40 30
		12月	40 40 20
降水量	関東甲信地方	10月~12月	30 40 30
		10月	20 40 40
		11月	30 40 30
		12月	40 40 20

### ➤ 寒候期予報(令和4年9月20日発表) <冬(12月~2月)の気温、降水量の各階級の確率(%)>

気温、降水量の各階級の確率(%)			
気温	関東甲信地方	冬 12月~02月	40 40 20
降水量	関東甲信地方	冬 12月~02月	40 40 20



#### 4. 今後の対応

- 今後は、荒川流域の降水状況や都市用水の水利用を十分考慮し、工事に伴う貯留制限による利水容量への影響を最小限にするよう努めるとともに、既存施設等を広域的かつ効果的に活用してきめ細かな運用を行っていきます。
- 荒川水系渇水調整協議会としては、必要に応じ幅広い広報活動を通じて節水の協力を要請していくとともに、取水制限等の調整が必要になった場合には、機動的に行っていきます。